

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

昭和58年11月30日 第32報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	40		
(藍) <i>Oscillatoria</i> sp.*	20		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas reginae</i>	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	60		
(珪) <i>Melosira solida</i>	80		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	80		
(珪) <i>Melosira italica</i>	320	◎	○
(珪) <i>Melosira distans</i>	200		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	40		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	160		
(珪) <i>Synedra ulna</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	140		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	320	◎	○
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	60		◎
(他) その他の植物プランクトン	40		
(藍) 藍藻綱	60	3.5	7.9
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	100	5.9	3.0
(珪) 珪藻綱	900	52.9	18.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	140	8.2	6.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	460	27.1	64.1
(他) その他のプランクトン	40	2.4	0.0
総 細 胞 数	1700	総体積	3.54E+06
種 類 数	18	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	320

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira italica</i>	320

植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Melosira italica
(メロシラ イタリカ)
珪藻綱

円筒形の細胞が連鎖群体を形成する。両端に長い剛毛を有しない。被殻はそれほど厚くない。